

実践事例

学校名 _____

1 実践の概要

(1) 取組みのねらい

校内において、乱暴な言動や、周りの友達への乱暴な言動や思いやりに欠ける態度が多く見られた。そのような状況の中で、学校保健委員会（養護教諭）が、心すこやかアンケートを実施した。

その結果の中で、「自分が好きですか」という問いに対し、「いいえ」と答えた児童が全体の48%と、半数以上の子どもが自分を好きでないと考えていることが分かった。

そこで、本校児童の実態である粗暴さは、自己肯定感が低いことに起因しているのではないかと考え、自己肯定感を高めることによって、周りへの思いやりの気持ちが育つのではないかと考え、現在その対応にあたっているところである。

(2) 取組みの内容

H18 いじめアンケート…実態把握

教育相談の実施 …実態把握により、随時教育相談を行う。

学校保健委員会(第1回)…ゲーム脳における心への影響(弊害)・自己肯定感を高めるには等について(討議)

学校保健委員会(第2回)…講演会の開催

いじめや思いやりについての講演を聴く(保護者・高学年対象)

講師： _____ (絵本『 _____ 』)

ふわふわ言葉集め…保健委員会(児童会)の活動の一つとして、「友達から言われて、うれしかった言葉」を直接書き、貼りだした。

H19 学校保健委員会 …エゴグラムにより、自己診断を行い、自己肯定感を持たせるための親の関わり方について考える機会とする。

あいさつ運動…登下校の際のあいさつを教師側からかける。その際に、「元気だね～」「朝ご飯食べた～」等、一言加える(子ども達と教師が、良い関係を作るために)。

2 実践の成果(態度・心情面やいじめの解決など)

ふわふわ言葉集めやあいさつ運動の実施により、数値的に確証はないが、子ども達の表情が柔らかくなり、明るい笑顔が増えてきたように思う。

また、学校保健委員会参加保護者は、その感想の中で、「愛情をたくさん注ぎたい」「一方的な愛情ではなく子どもの気持ちになっての愛情」「高いレベルばかり望まず、リラックスして取り組みたい」「エゴグラムに自分の矛盾に気づいた。低い部分を高め、自己肯定感を高めるためにどんどん関わりを持っていきたい。」「保健委員会は、いつもいい勉強になり、自分の考えを軌道修正する良い機会だ」等、好評を得ている。

3 取組みの評価(対応についての評価)

具体的・数値的評価は、まだ出ていない。上記の感想から、保健委員会に参加者した保護者の意識に変化が見られたと確信できる。

また、粗暴な言動が見られる児童は、数名に減ってきた。少しずつ良い方向に向かっている。

4 実践に関する資料(学習カード等)

特になし